

平成22年
第 79 号

大 鉄 協

9 月20日
発 行

大阪鉄螺卸商協同組合

<http://www.daibyokyo.com>



うーん ○ンダム

勝亦 良彰

- ◇池田理事長挨拶…………… 2
- ◇第40回通常総会…………… 2～3
(平成22年度事業計画)
- ◇大阪府がお役に立つ情報をお届けします！
(大阪府商工労働部) …… 4
- ◇組合だより…………… 5
- ◇委員会だより…………… 5～7
- ◇支部だより…………… 7～9
- ◇第62回野球大会……………10～11
- ◇2011年ファスナーカレンダー&
ねじ手帳発刊…11
- ◇OS会の頁……………12～13
(川西達也、吉川雅也)



- ◇随想投稿欄……………13～17
(福井和廣、鳥居誠司、由良泰雅)
(石江多加子、郭 小琴)
- ◇組合ウェブサイトリニューアル……………17
- ◇第23回F Eセミナー……………17～18
- ◇第36回ボウリング大会……………18～19
- ◇第3期“社長塾”……………19
- ◇[シリーズ]私の宝物(前野幸司)20～21
- ◇第6回大鉄協 親睦ゴルフコンペ…22
- ◇表紙のことば……………22
- ◇編集後記……………22
- ◇今後の主な年間スケジュール……………23
- ◇協賛広告……………24

60周年に想う

理事長 池田 哲 雄



清涼の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より組合運営に一方ならぬご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、大阪鋳螺卸商協同組合は、おかげさまで今年創立60周年を迎えることが出来ました。リーマンショックから早くも2年が経ったとは言うものの、まだまだ厳しさの残る環境の下ですが、暮れの講演会と忘年会では、ささやかながら皆様と共に60周年を祝い、節目の年にいたしたいと思っております。

しかし、この2年はあつという間でしたが、その間に経営を取り巻く環境は、大きく変わりました。人口が増えるということ、ハングリーな若者が多いこと等々、新興国のパワーを見せつけられた2年だったとの思いが致します。国内でも、エコ減税や補助金などの経済対策は、景気回復に一応の効果を発揮したようです。でも、本格的な回復にはあと一歩と言うところでしょうか。対症療法だけでなく、根本的な対策が待たれるところです。今後長期にわたる景気対策につながるような考

えが欲しいものです。新たな成長産業を呼び起こすインフラ整備が大事だと思えます。とはいえ、お上に求めるだけでなく、各企業が自社の成長のための工夫と努力をすることが一番求められるのでしょうか。

さて、そんな視点で業界を見ますと、今後一層重要になってくる体質改善の一つが、コスト対策ではないでしょうか？

合理化を進めコストを下げるには、一社ごとの努力もさることながら、業界で取り組む情報処理対策が、大きな経済効果を生み出すもととなります。コードやレコードを共有し、情報交換のインフラを整備し持つことは、業界の今後の発展には効果的で、外せないものになってくると思っています。

組合創立60周年にあたり、業界としての情報インフラ作りに、前向きに取り組みたいと思っております。また、これから起こる様々な問題に対応した、タイムリーな情報交流の場に組合がなれますように、変化し、進歩するよう、一層の努力をいたしてまいりたいと思っております。

今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

第40回 通常総会を開催

～更新ホームページも公開～

第40回通常総会が5月21日午後3時から、大阪市中央区の“ヴィアーレ大阪”で開催され、21年度事業報告や収支決算、22年度事業計画、収支予算など計8議案が承認・決定しました。総会開催前には、創立60周年を機にリニューアルされた組合ホームページも出席者に披露されました。

総会は小林三洋総務委員長の司会で進められ、組合関係物故者の冥福を祈り黙祷が捧げられた後、委任状提出を含む計100名の出席

により議決有効が報告されました。

池田理事長は「リーマンショックにより昨年の今頃はちょうど最低の景況で一番厳しかったが、ようやく一部では景気回復も実感されるようになってきた。これは外部環境の影響も去ることながら、各企業が経営・業務改善に取り組んできたことに依る。

当組合も活動の中で少しずつだが改善を進めてきた。60周年を機に組合ホームページをリニューアル、情報の充実や素早い提供を心

がけており、皆様の利用をお願いする」と開会挨拶を述べました。

次いで組合事業協力者表彰に移り、特賞・4社、金賞・11社、銀賞・15社、銅賞・10社—計40社の各賞代表に池田理事長から感謝状と記念品が贈られました。銅賞規定に満たない組合事業協力者（計18社）に対しても記念品が贈呈されました。

このあと西出倫明氏（NBファスナー工業㈱）を議長に選出し、下記の議案審議に入りました。

①平成21年度事業報告承認の件＝大西進副理事長から事業報告説明がおこなわれ原案通り承認されました。

②平成21年度収支決算承認の件＝西沢千秋会計理事から収支決算内容について詳細に説明され承認されました。

③平成21年度利益金処分案の件＝池田理事長から所定の剰余金処分案が説明され、金田正伸監事の監査報告のあと承認されました。

④平成22年度経費の賦課する額並びに徴集の時期及びその方法承認の件＝前年通りの賦課金を年2回に分け徴集する、従来の方法が提案され原案通り承認されました。

⑤組合借入金の最高限度額の承認の件＝池田理事長より組合事業展開の上から一時的な資金需要が発生する旨の説明があり、従来通り2000万円を限度とする短期借入れが承認されました。

⑥平成22年度事業計画の承認の件＝前野幸司副理事長から別項の事業計画案が説明され、原案通り承認されました。

⑦平成22年度収支予算案の件＝西沢会計理事から事業収入、賦課金収入、事業外収入などを含めた総額7860万円余の予算案が説明され、原案通り承認されました。

⑧その他の件＝中西真吾事務局長から事務手続き案件の説明があり原案通り承認。

最後に藤澤弘幸相談役・理事の音頭による万歳三唱、前野副理事長による閉会挨拶がおこなわれ、総会を終了しました。

引き続き懇親パーティーが、大阪府商工労働部や大阪府中小企業団体中央会、大阪卸商連合会、商工中金、川崎税理士事務所らの来賓多数を交えて開かれました。池田理事長の挨拶、来賓祝辞、祝電披露に続き、岡田眞治相談役・理事による乾杯発声で開宴、出席者は相互に懇親を深めました。



総会で挨拶する池田理事長

平成22年度 事業計画（骨子）

①共同購買事業＝▽各種包装用資材・印刷物・その他雑品の共同購買▽カーリースの斡旋▽OCSセンター（福利厚生サービス）の斡旋▽車検の斡旋

②教育情報事業＝▽企業経営・営業実践に関する各種研修会・講演会の実施▽ねじ工場見学と研修会・IT関連研修会の実施▽機関誌「大鉄協」の発行（年2回）▽各種情報の収集および提供

③福利厚生事業＝▽第62回野球大会の開催▽第37回ボウリング大会の開催▽第3回テニス大会の開催▽各種同好会への支援

④保険事業＝組合員、従業員及びその家族対象各種保険の取扱い、平成22年度各種保険事業（計画表略）

⑤出版事業＝▽「ファスナーカレンダー」2011年版の発行・販売▽「ねじ手帳」2011年版の発行・販売▽JISハンドブック2011年版の斡旋取扱い▽その他諸出版物の斡旋等取扱い

⑥表彰事業＝▽組合事業協力者表彰▽歳男・歳女への記念品贈呈▽その他の関連事業

⑦支部運営事業＝支部活動の業務支援



大阪府商工労働部
施策ガイド

大阪府がお役に立つ情報をお届けします！

大阪府商工労働部

ある会社の社長さんと従業員との会話で・・・

社 長：わが社も社員全体のスキルアップが必要だと考えているが、今は新入社員研修ぐらいしかできていないなあ。

社員A：今まで、新入社員向けの基礎的な研修は、総務部門の社員が行ってきましたが、範囲を広げるとなると人手が足りませんね。

社 長：行政で研修の支援はないかな。

社員A：調べて見ます。

(15分後)

社員A：社長、大阪府の施策を調べたところ、企業OBを活用した、「大阪府産業支援シニア活動センター」というところで、オーダーメイド社員教育支援事業を請け負ってくれるそうです。

企業OBが実務経験に基づいた研修をするので、より実践的な知識が必要である中堅社員の研修にはぴったりかもしれません。費用など、具体的内容をセンターに聞きに行ってきます。

社 長：行くのはいいが、なぜ、そんなに早く大阪府の施策を調べることができたんだ。

社員A：それは、大阪府の商工労働部が「大阪府商工労働部施策ガイド つなぐ」というポータルサイトをオープンしていて、このサイトは、大阪府商工労働部の施策が網羅され、その他にも企業活動や雇用・就労に役立つ情報も随時更新されているんです。

このサイトの特徴は、知りたい情報が、利用者のニーズ別や雇用主・従業員等の利用者別等の5種類の検索があって、欲しい情報がすぐ見つかるように工夫されているので、早く調べることができました。

他にも、カート機能があって、ページ下の「かごに入れる」をクリックすると選んだ情報が一覧となって印刷することもできるようになっています。

社 長：そんなに便利なサイトがあるのか、他の社員にも『ポータルサイト「大阪府商工労働部施策ガイド つなぐ」』の周知を頼むよ。

大阪府商工労働部では、事業者・労働者・求職者の皆様と必要な情報をつなぐポータルサイト「大阪府商工労働部施策ガイド つなぐ」を開設していますので、ぜひご活用ください。

まず **大阪府 つなぐ** で検索 『URL:<http://tsunagu.tri-osaka.jp/>』

【「大阪府商工労働部施策ガイド つなぐ」に関するお問い合わせ】

大阪府商工労働総務課企画グループ TEL：06-6944-6720

電子メール：shorosomu@sbox.pref.osaka.lg.jp

【大阪府産業支援シニア活動センターに関するお問い合わせ】

大阪府産業支援シニア活動センター・ホームページ <http://www.oissac.org/>

商工振興室経営支援課経営支援グループ TEL 06-6944-6730

電子メールshokoshinko@sbox.pref.osaka.lg.jp

大阪府商工労働部商工振興室商業支援課

主 査 内田 吉彦

TEL 06-6941-9186

組 合 だ よ り

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪府中小企業団体中央会

「組合経営功労者」
井上金属工業株式会社
取締役会長 井上 勝裕 氏
(平成22年9月14日)

◇新社長就任

○中央支部所属

・株式会社テクノアソシエ
代表取締役社長 橋本 修 氏
(平成22年2月)

○西部支部所属

・井上鉄螺工業株式会社
代表取締役社長 井上 峰二 氏
(平成22年4月)

○九条支部所属

・株式会社山田製作所
代表取締役社長 山田 尚央 氏
(平成22年5月)

○東部支部所属

・株式会社垣内螺子商会
代表取締役社長 垣内 龍夫 氏
(平成22年6月)

◇組合新規加入

○西部支部所属

ミヤガワ金属販売株式会社
常務取締役 宮川 勝 氏
(平成22年2月)

◇組合任意脱退

○中央支部所属

株式会社アサヒ金属製作所
代表取締役社長 小林 賢司 氏
(平成22年3月)

◇訃報

○東部支部所属

今里金属株式会社
代表取締役社長 大江伸生様の御尊父
大江 貫一様
(平成22年3月26日ご逝去)

○九条支部所属

株式会社山田製作所
代表取締役社長 山田 昭夫様
(平成22年5月1日ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

委 員 会 だ よ り

猛暑の野球大会

福利厚生委員長 鈴木 啓次

本年も野球大会が7月25日より始まりました。

昨年は雨・雨また雨と、雨に苦しめられた年でしたが、今年は、猛暑という言葉が流行りのように大変暑い大会でした。

球場に来られた関係者は、今年は雨が無くても良いですねと声をかけて頂きましたが、今年の暑さは異常で連日猛暑で、熱中症の人が一週間で9400人以上、また家の中での熱中症による死亡者も多数いるとの事、本大会においてもグラウンドで審判が熱中症で倒れた次第です。

水分・塩分は、しっかりと摂取して猛暑を乗り切ってください。

野球大会に参加して下さい、盛り上げて下さった選手の皆様、応援の皆様ありがとうございます御座いました。

また委員の皆様には、早朝よりグラウンドの水撒き、整備、審判への熱中症対策の冷たいおしぼりや飲み物などのお気遣いありがとうございました。御苦労さまでした。

なお、福利厚生委員会では、本年度も秋の恒例になりつつあるテニス大会と2月or3月初旬にボウリング大会がございます。皆様多数の参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い致します。

組合創立60周年記念忘年会

総務委員長 小林 三洋

秋風と共に組合創立60周年記念忘年会の開催が迫ってきます。

業界の厳しい現状を鑑み、理事長及び理事会の方針で記念式典は控え、忘年会と同時に60周年記念懇親会を開催することになりました。

開催要領は下記の通りです。組合員の方々に喜んでいただけますよう、精一杯企画を考えます。当日同時開催の経営委員会主催の講演会共々ご出席のほどお願い申し上げます。

記

日時：平成22年12月 3日 (金曜日)

場所：ヴィアーレ大阪

〒541-0052 大阪市中央区安土3-1-3

Tel.06-4705-2411 以上

第3期社長塾

経営委員長 加納 久義

気象観測史上、最高気温を更新したという日本列島。今年はそんな猛暑の夏を経験しました。

残暑お見舞い申し上げます。

さて経営委員会は第3期社長塾を18名の方に参加していただき、12月から7月まで6回実施いたしました。

2月はT T Nコーポレーション㈱ 社長辻野福三郎氏。24時間営業の新しい昼屋さんです。個人向けには「三条たたみ」のブランドで営業しています。職人の世界を工場にされました。市場規模縮小の中で既成概念にとられないお話でした。

3月は木ノ本伸線㈱ 会長 木ノ本晃氏。社名に創業当時の「伸線」という名を残していますが、実は磨きシャフトのメーカーです。特に快削鋼で作られたシャフトのシェアは業界トップ。涙する辛い経験も話していただきました。

4月㈱嵯峨野観光鉄道 社長 長谷川一彦氏。長谷川氏がJRから嵯峨野観光鉄道に出向した1991年、線路は荒れ放題、雑草は生い茂って「ここにトロッコ列車を走らせても、絶対に3年で潰れる」と言われるほどだったそうです。国鉄や労組の話。左遷の怨念？から仕

事の悟りの話。盛りだくさんでした。

5月は傳來工房㈱ 社長 橋本和良氏。平安時代から千百年の伝承を受け継いでいるアルミ鋳物のものづくりの真髓を住宅と空間に活かしている会社です。京都の西大路の本社工場へ見学に行きました。

3S活動が徹底されていました。

6月は㈱イワサキ 専務 岩崎基造氏。長年オフィス家具の企画・開発・製造に携わってきたノウハウを武器に、オフィス家具主体から「金属を素材とするすべてのものをつくる企業」への飛躍的な成長を目指しているそうです。発想力と行動力。刺激されました。

7月は㈱中北製作所 社長 中北健一氏。大証二部の造船用バルブで世界トップシェアの流体制御装置の総合メーカーです。'04年に、外資系ファンドのスティール・パートナーズの買収対象となった時のお話も聞かせていただきました。

余談ですが、4月の長谷川社長はアイルランドの火山噴火でヨーロッパから帰国できず6月3日に変更して頂きました。

第4期社長塾については次回の委員会で検討したいと考えています。皆様のご意見やご要望をお寄せください。

機関誌と記念誌とホームページと

広報委員長 大喜多 正己

いつも機関誌「大鉄協」をご愛読頂き、誠にありがとうございます。おかげさまでこの第79号を無事に発行することができました（もともと、これを書いている時点ではまだ編集作業の途中ですが、唯一私自身の遅筆を除いては、全て順調に進行しているところです）。これもひとえに、執筆を快くお引き受け下さいました皆様をはじめ関係各位のご協力の賜と、感謝の念に堪えません。

さて、例年の広報委員会では年2回の機関誌発行が任務のほぼ全てなのですが、前年度から今年度にかけては仕事が少々増えておりますので、ここで触れておきたいと思っております。まず、皆様ご承知の通り、本年度は組合設立60周年にあたりますが、これを記念して「60周年記念誌」を発行することとなり、大西副

理事長の全面的な指揮の下で、私たち広報委員会がこれを担当させて頂いております。既に前年度より、全体構想に始まり構成の検討、製作会社の候補探しと選定、そして詳細な内容の決定へと順調に進めておりました。今年度に入ってから各方面への原稿依頼を行い、現時点ではほぼ目処がついた状態です。また同時に、広告掲載のお願いも並行して各方面に依頼しておりましたが、昨今の厳しい経済情勢にもかかわらず多大なご協力を賜り、また役員の方のご活躍のおかげで、目標額に届くことができました。今後は校正作業や細かい調整を重ねつつ、最後に年末の「60周年記念講演会・記念忘年会」の様子を収め、晴れて発行に漕ぎ着ける運びとなります。

もうひとつは、組合ウェブサイトのリニューアルに関してです。こちらも前年度に、勝亦副理事長からの提案で、委員会で色々話し合っておりました。結局、広報委員会ではなく、勝亦副理事長をリーダーとして井上常任理事（前広報委員長）、中西事務局長と大喜多でプロジェクトを組んで作業させていただき、6月に公開することができました。

販売目標達成のお願い

業務委員長 隅田 彰三

残暑お見舞い申し上げます。

ここ数年毎年の様に地球規模での異常気象で世界各地で異変が起っていますが、国内でもゲリラ豪雨やこの夏の猛暑日の連続等、異常気象が続いて居り、この酷暑で、熱中症も多発し、我々も気を付けねばと思いました。

さて組合財政を担う業務委員会としまして、委員会として最大の柱である「ねじ手帳」

「ファスナーカレンダー」の予約販売に関しましては既にご案内の通りでございますが、今年の販売目標を過日業務委員会と事務局の小林さんと協議した結果「ファスナーカレンダー」5000部、「ねじ手帳」9000部と目標設定致しました。

ハードルは高いと思いますが何卒組合員各位のご支援、ご協力を頂きこのハードルをクリアして、今年60周年を迎える組合の財源を少なからず確保し、組合運営に貢献出来る様にと考えています。

ねじの基礎研修のお知らせ

労務委員長 高橋 秀二

平素は労務委員会の事業に、ご支援、ご協力を頂きまして有り難うございます。委員会一同を代表いたしましてお礼申し上げます。

さて、本年3月17日委員会を開催して本年度の事業を検討しました結果、前年度と同じとする事に致しました。事業内容としましては「ねじ工場見学と研修会」を10月19日に金剛鉄螺(株)本社工場を見学して研修は「六角ボルトが出来るまで」と「ねじ産業へのいざない」を予定しております。

11月5～6日は「FEセミナー（図面の読み方・描き方コース）」をテクノセンター東大阪にて行います。

次に平成23年3月11～12日、第24回「FEセミナー（ジュニアコース）」はケーエム精工(株)北井社長様に講師をお願い致しまして定員40名程度で大阪ガス奥池ロッジで予定しております。場所に関しては、交通の便が悪いと言う事もありますが、開講意図を尊重しまして同じ場所とさせていただきました。

支部だより

全員参加を目指しています

本田支部長 谷川 清石

今年は、本当に暑い日が続いていますが、組合員の皆様におかれましては、いかがお過ごしになられましたでしょうか。また、平素

は支部活動に御支援御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、本田支部は3月に2泊3日で伊勢路をゆったりとバスで旅行しました。焦らず時間に余裕をもって楽しい旅行が出来ました事

を喜んでいますが。同じ3月に、京セラドーム大阪にて、阪神タイガース開幕試合を最後まで全員で観戦しました。

そして9月に去年と同じく、九条支部さんにお世話になりますが、9月23日に能勢カントリークラブにて（九条支部、本田支部合同）交流会を予定しております。お世話されます方々宜しくお願いします。

来年は新年会そして京セラドーム阪神タイガース観戦も予定しています。幹事会では、支部員の皆様に喜んでもらえる様な企画を取り入れて参りたいと思っています。

雨中の熱海旅行

九条支部長 久保 哲也

今年の3月6日から7日の2日間にかけて熱海方面に、恒例の支部旅行として行きました。支部長の日頃の行いが悪いせい、2日間とも大雨のなかの旅行となってしまいました。

6日に新大阪から新幹線で移動をして、現地ではバスで移動というスケジュールでしたが、大阪を出るときから雨が降っていて現地では晴れてくれることを願っていたのですが、いざ到着してみるともっと雨が強く降り、更に霧までかかっているという状態でした。日本平や芦ノ湖や富士山などの景色も全く見えず、晴天であれば見えるはずの景色も写真を眺めて溜息をつくばかり、唯一の救いは旅行のメインイベントとも言えるホテルでの宴会で、幹事の方々の大活躍や、支部員の皆様の宴会芸の披露もあり、大変に盛り上がったことです。二次会においてもそれぞれ楽しまれたようで、翌日のバスのなかでの話題に事欠くこともなく過ごせたことでした。

雨中のなか、旅行のお世話をいただいた、筑紫の相川様とエヌエスメタルの鈴木様に感謝する次第です。

さて、来る9月23日には増谷様のお世話で能勢カントリーにて、恒例の九伸会のゴルフコンペを本田支部と合同で行います。皆様のご参加をお待ちしています。

支部の行事

西部支部長 原田 棟弘

8月は猛暑日が続く、体が溶けるような日が続きましたが、組合員の皆様、いかがお過ごしに成られましたか。機関紙が発行される、9月20日ごろには暑さも和らいでいることと思われま。

今年から、ミヤガワ金属販売株式会社様が、参加されて、18社に成りました。

さて、今年の西部支部の懇親旅行は、18社中16社の参加で、嬉野温泉1泊2日の日程で（6月11日～12日）行いました。1日目は、品質管理が非常に厳しい自動車メーカーへの納品が多くあると聞いていたので、品質管理をどのようにされているのか、非常に興味を持って見学にいきました。先は、佐賀鉄工所でした。品質管理第一は、伸線から焼入・表面処理までの一環生産と成っていました。管理第二は、ヘッダーが終わった製品から焼入・表面処理・製品検査までをミニトロッコ（20～30kgが入るぐらいの大きさ）で進んで行く工程に、感心しました。万が一不良品が発生しても、ミニトロッコ、一台分で済むとの説明でした。管理第三は、90%位をセンサーで一本づつ製品検査を行っている為、不良率がゼロに近い。

2日目は、テレビで放送されて、ちょっとした観光名所になった高島の宝神社に寄りました。読んで字の如く宝くじが良く当たる神社と言う触れ込みです。宝くじグッズの種類がこんなにあるものかと言うぐらい置いていて感心した次第です。楽しい2日間を過ごし明日への活力と成りました。

今後も、旅行幹事さんの企画手腕に、期待を掛けています。

暑い 暑い 夏でした

中央支部長 藤田 政秀

世界的に異常気象が叫ばれて久しいですが今夏も国内では集中豪雨、海外では洪水、高温による火災そして死者続出と憂鬱な状況ですが、支部の皆様におかれましてはご健勝にお越しの事と存じます。しかし、景気の方は天候とは全く逆で冷夏状態と言えるでしょ

う。地球の温暖化は進んでいる様ですが景気の温暖化はいつ来るのでしょうかね。

さて、昨年の3社に続き今年も1社退会され23社となりました。寂しい限りです。

今年の支部活動ですが、2月下旬にナニワネジの小西様のお世話により相撲料理《西の龍》にて新年会を開催しました。チャンコ鍋、馬刺し、とっても美味でした。今年は2年に1回の海外旅行の年です。支部の皆様アンケートを御願いしまして僅差ながら《マカオ》に決まり、5月14日～16日に研修旅行を開催しました。私自身は3度目の訪問でしたが、《変貌したマカオ》を見聞するのが楽しみでした。前回(20年程前)では丘の上の崩れた教会の壁とカジノと云うよりは薄汚れた場末の賭博場しか印象に残っていませんでしたが、今や巨大なホテル・カジノが建ち並びそしてエンターテインメントに溢れた巨大都市に変貌していました。特にホテルグランドリスポアに代表される夜景は見事なものでした。有志(全員?)でカジノに挑戦。全敗と思いきや何人か稼がれたようです。おめでとうございます。2日目の夜はホテルの一室に全員集まりワイワイガヤガヤ。2泊3日という短い時間ではありましたが、支部会員相互の親睦を深める事が出来たと思っております。

秋も深まる頃に食事会を開催したいと思っています。是非、全員御参加頂きます様御願い申し上げます。

初夏の韓流ツアーと初秋の勉強会

東部支部長 井上 勝裕

報告その壺

この八月二十七日に勉強会をいたしました。附属書廃止問題に伴う「日本工業規格の現況」を主軸に、(株)サンワ・アイの西社長に講師をお願いいたしました。

日本工業規格の附属書問題は六角ボルトのみならず六角ナット等他の製品にも及んでおります。この規格の乖離はわが業界にとって深刻な問題となっております。

なぜならば業界に於いて規格という「共通語」があつてこそ円滑な取引ができるからで、その共通認識がバラバラであるなら、トラブ

ルの原因となるからであります。

また、広く考えると、このままでいいじゃないか、と日本規格が独自路線で進むのを放置しておきますと世界標準との乖離が進み所謂ガラパゴス化するのではないかと危惧いたします。

現状どのような問題が生じているのか、また将来生じる恐れがあるのかについて、一時間余りでは時間が足りなかったように思います。またこのような機会を設ければと考えます。

報告その貳

三ヶ月前になりますが、濟州島へ支部旅行に行きました。近場の海外を企画しておりましたので。

わたしが訪れた十年前と比して、観光地として洗練されている点が印象的でした。とにかく化粧室が頗る近代化されている。

世界遺産もありますし、韓流ドラマブームですので女性客が多い。残念ながら参加者には韓流ドラマにはまっているひとは皆無で、『太王四神記』の舞台セット跡のテーマパークに行っても「なんやそれ?知らんわ」とのあまりの反応のなさにガイドのキム女史はがっかりしてました。日本で放映されている『アイリス』のラストのロケ地ですから、半年ずらしゃあよかったか。

一等面白かったのが濟州島の男が働かない、というよくある話でキム女史の稼いだ金を旦那が飲み代にぱっと使ってしまう話で、そういった被害に会っているキム女史の愚痴を聞くことでした。愚痴がどんどんエキサイトしてくる。やばいやばい。

概してエネルギーでアバウトなんです濟州島のひとは。夜中に表に出かけますと路上の卓で魚介類と焼酎やらビールを飲むは、食べるは。わたくしがふらりと入った小さなバーでハイトゥビールを飲んでいると韓国二位のGSというコンビニ会社(因に一位はファミマである)勤務の社員が話しかけてきて、ビールは二杯目に突入したのであります。

とにかくチョワヨ!でありました。

おしまい

引き続き行われた表彰式では、サンコーインダストリーAチームに、深紅の大優勝旗ほか表彰状や大阪府知事杯、大阪市長杯、理事長杯などの記念カップ並びに盾が池田理事長から授与されました。また、準優勝の三笠・

鉄螺チームにも前野幸司副理事長から表彰状や副理事長杯などが手渡され、運営に携わった福利厚生委員会や両チームの応援に駆けつけた関係者らによる健闘を称える拍手に迎えられました。



優勝したサンコーインダストリーAチーム



準優勝の三笠・鉄螺チーム

2011年 ファスナーカレンダー ねじ手帳 発刊

業務委員会 手帳は新デザインロゴを採用

業務委員会（隅田彰三委員長）は、かねてより2011年（平成23年）版『ファスナーカレンダー』、および2011年（同）版『ねじ手帳』の発行を進めてきましたが、いずれも8月下旬で予約申込みを締切り、日本ねじ商連傘下の他組合および員外者からの受注を含め発行部数を集計中です。

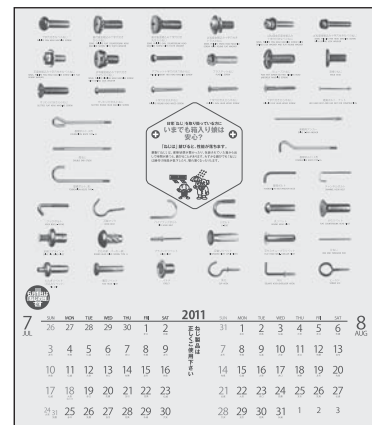
『ファスナーカレンダー』は昭和57年以来毎年発行してきており、各方面から問い合わせが寄せられるまでに組合事業として定着しています。2011年版はA2版3色刷り縦型で、用紙には厚手の高級再生紙を使用、バックは薄いカラフルな6色で構成、表紙を加え7枚綴りとしたもの。綴じ方は環境に配慮したエコプレス（紙製）。

前年から表紙を斬新なデザインに変更、製品写真中央部にイラスト入りの“ねじ安全使用取り扱い”説明を配置していますが、このイラストも一新されます。中央部には一般に流通しているボルト、ナット、小ねじ類など総点数280点余りのファスナー製品を収録し、各々の標準名称と英文名称を付記、ねじ製品の一覧表としても利用できるよう一目でわかる編集となっています。

『ねじ手帳』は2004年版の発行以来、好評につき毎年発行されています。新デザインのロゴが入った2011年版は、縦型（150^{mm}×92^{mm}）で総208頁。ねじ一覧表：写真付き12頁、ねじ重量表、ねじ規格表40頁、鉄道路線図、その他は一般手帳に準ずる仕様。別冊アドレス帳、表紙は薄茶色で高級ビニール装、贈答用のし袋付き。

「ねじ重量表（第3版）」より主要製品の重量表を掲載、「ファスナーカレンダー」から写真・製品名を“ねじ一覧表”として追加、コンパクトな手帳に仕上げています。

カレンダー、手帳とも社名印刷の要望に対応しており、年末・年始の贈答用、社内での社員教育用に最適で、納期は11月下旬の予定です。



OS 会 の 頁

ゴルフを始めて…

脩川西製作所

川 西 達 也

このような作文？は高校時代に停学になった時に書かされた反省文以来で何を書けばと悩み、気付けば盆休みも最終日でした。

さてさて本題ですが、この業界はゴルフ人口が高くないですか？そう思うのは僕だけでしょうか？つい、一年前まではゴルフに全く興味がありませんでした。30歳まで新潟で修業をして戻ってきてから、取引先の社長のススメでOS会に入会し、親しくなった人達に散々ゴルフに誘われましたが頑なにNOとしか言わなかった僕が昨年、中学時代の同級生に打ちっぱなしに誘われ行ってみたのがきっかけでした。僕の同級生のゴルフの師匠は、OS会内でコンペ荒しの異名を持つ村井耕太郎君なので、打ちっぱなしに連れて行ってもらった僕の指導係も必然的に耕太郎になり教えてもらう事になりました。周りの友人に打ちっぱなしとコースでは全然違うと言われていたのを覚えていたので、2回打ちっぱなしの練習だけでコースに出てみたくなり、2回の練習でコースデビュー。かなり叩くであろうかと、前日にゴルフ5でカウンターを購入し、記念すべきデビュー戦は兵庫県のレイクスワンへ……結果は散々なものでした。不特定多数が目を通すであろう、この誌面で僕の初スコアを書く勇氣はありません。

散々なスコアで終わったデビュー戦ですが、ヤル気が出てきて真面目に練習も行き、少しは楽しさも覚えました。少しずつですがマナーとルールも今更ですが覚えてきました。

今年、38歳でゴルフ歴1年という遅いデビューであります着実に進歩していると思いたいです。

僕の師匠、耕太郎によくゴルフは自分との戦いという言葉が言われました。最初は何を

訳分らん事を言うとんねん的に思っていたが、ゴルフというスポーツにムキになり、一年しか経ちませんが少し分ってきたように思えます。

これからもゴルフを通じて、今まで交流のなかった人達との交流や自分との闘いというものに、今年度のOS会のテーマと同じガチの精神で取り組んでいきたいと思います。

ゴルフで人生勉強

榊吉川ポールト

吉 川 雅 也

OS会の幹事を引き受けたのがきっかけでゴルフを始めて僅か半年。先輩ゴルファー方の「ゴルフの上達の近道はラウンド数を重ねる事」と言われる理由が最近少しずつではあるが理解できるようになった。練習場で打つ状況がコースでは殆ど応用できていないと言う事。練習場のように整った状況で2打として思い通りに飛ばないのに、凹凸の激しいコースなら尚更の事である。又、ラウンド中に今の技術では抜け出せないトラブルに陥って逃げ出したいという衝動に駆られた時でも、頑強な精神力をもって最後迄ラウンドを続行しなければならない。この追い詰められた状況は実に辛い。

最近の出来事です、困難なトラブルから抜け出そうと必死に振っていたクラブが自身が選んだクラブではなかったという平常心では考えも及ばない初歩的なミスをしていた。焦って冷静とは程遠い状態に陥っていたのである。

学生時代に熱中していたサッカーではチームワークが重んじられ「点を取られれば取り返す」と言うように闘志や怒りを対戦相手にぶつければ良かったが、ゴルフはそれが出来ない実に孤独なスポーツである。自身の気持

を抑えたり開き直ってみたり…。

正直言ってゴルフを始める前は、これ程難しいとは思っていなかったが、今は奥の深いメンタルなスポーツだと痛感している。著名なプロゴルファーですら写経をしている位だから…

基本的にスポーツは嫌いではないので、先

輩方のアドバイスに耳を傾け謙虚な気持ちで続けていければ…と思う昨今です。

ゴルフに必要な不可欠な精神力を鍛えて、今後、これを仕事面でも生かせれば一石二鳥である。素晴らしい体験をしていると思って、頑張りたいと思っています。

随 想 投 稿 欄

私の趣味 魚つり

三喜鉦螺(株)

福 井 和 廣

社会人となり、友人や先輩たちから誘われるままに様々な事にチャレンジしましたが、不惑を過ぎても続いているのが“釣り”です。釣りの愛好者は多くおられ、溪流から湖、波止場から磯と、多種多様な釣りを楽しまれておられ、私も誘われるままに何でも付き合っています。私が自分流に一番好きなスタイルは、ゴムボートに乗って海に漕ぎ出で、一人で釣るといふものです。

二人乗りのゴムボートに、釣り竿、クーラーボックス、アンカーと食料を積み込み、早朝、日の出とともに砂浜から沖に出かけます。初夏にはキス、冬はカレイがお目当てで、岸からの投げ釣りと同じ獲物ながら、ボートからだとはやはり大物に出会う機会が増えます。また、筏釣りやカセ釣り（船頭さんにボートでポイントまで連れて行ってもらう釣り）よりも、自分の実力で広くポイントを探ることができ、努力と工夫の余地が増えるので楽しみも格段に大きくなります。

通常は昼過ぎには竿を収め、陸に上がりますが、同じように沖に出ている方々とクーラーを開けて釣果を競い合ったり情報交換をしたりと、実に子供心に戻り、何ともいえない楽しみであります。釣り人は、みんな、そうです。

子供の頃のザリガニ釣りから始まり、大和川の鮒や鯉釣り、友人との溪流釣りを経て、

現在のボート釣りに至っていますが、何時の頃からか、その生き様に憧れ続けています。高健の言葉「ひと時を楽しむなら酒を飲みなさい、3日間楽しむなら結婚しなさい。一生楽しみたいなら釣りをしなさい」をしみじみと味わいながら、来週に予定している釣行のポイントを選び、獲物を想像し、仕掛けを作り、竿を磨いている最中です。

写真は、先日友人に誘われた初めてのジギング（ジグという金属の疑似餌を使い、海底からジグをシャクリ上げながら魚を誘う釣り）での成果。



93cmのヒラメ

新しい家族

(株)村井製作所

鳥 居 誠 司

今年に入って僕の周りは3月、5月、9月、12月とベビーラッシュです。

そんな中、わが家にも2010年3月8日に待望の第一子が誕生しました。1960gで目がクリンッと大きく丸く、奥さん似の女の子でした。2000gを切ってしまったので未熟児扱いとなり、すぐに保育器に入る事になりました。出産の半年前から、平均より小さく育てていた為、病院の先生からも、出産予定日には、

平均の2500gを下回るかもしれないと聞かされてきました。

もともと奥さんは小柄なので、出産自体が帝王切開になる可能性は高かったのが、未熟児を出産となると、その可能性はもっと上がると言われていました。安易な考えで、小柄な奥さんが未熟児の小さな子を産むのに何故切る必要があるのか不思議でした。

未熟児がお腹の中で、これ以上育たない場合は、切って早めに表に出して保育器に入れ、母親のお腹の中の状態と同じ環境を作り通常の大きさまで育てるというやり方をします。

立ち会いを希望していた僕は、帝王切開の為、立ち会えず病室で二時間くらい待ちました。あの時の二時間はどれだけ長く感じたことか。五分おきくらいに時計を見ては、ソワソワしてました。雑誌を読んだり、窓の外を見たりして気を紛らわしていましたが、全く効かなかったです。

こんな時、男の無力さを大いに感じました。出産が終わり、奥さんは麻酔でうつらうつらしてました。産まれてきた赤ちゃんはめちゃめちゃ小さく、その姿を見た途端、安心したのと嬉しいのが両方いっぺんにきて涙が出てきました。頭の中で流れていたBGMは「こんにちは赤ちゃん」でした。

会社の帰りにほぼ毎日保育器の中の赤ちゃんに逢いに行きました。

名前は杏璃（アンリ）です。「杏が花を咲かせる季節の3月に産まれた、青く美しく光る瑠璃色の宝石のような」という意味を込めてつけた名前です。親から子供への初めてのプレゼントとなると、かなり画数や相性なんかを気にして考えましたが、やっぱり最終的には、フィーリングになりました。

杏璃が生まれて5か月、家族が増えた事で、家庭が忙しくもなり賑やかにもなりました。ミルクをやったり、オムツをかえたり、お風呂に入れたり、寝かしつけたり最初は慣れるまで大変でしたが、今ではどれもが楽しみにかわっています。

首も座り、うつ伏せにもなれる様になったので、写真もたくさん撮ってアルバムにしまったり、動画を撮れるようにHDDカメラも購入しました。

出かけると子供用の可愛い服なんか気になってふらふら店に入って行ってしまいます。自分の趣味や娯楽に使っていたお小遣いも今では子供に費やす方が多くなりました。毎日これからの子供の成長を見るのが楽しみで仕方ないです。

その為にもまずは家族が幸せに健康でいられるようにしたいです。

奈良県民

由良産商(株)

由 良 泰 雅

お住まいはどちら？と聞かれて奈良と答えると八割近い人があんなに、遠いところからはるばる…という反応をします。大阪の飲み屋で飲むと頼まなくても帰りの電車を心配されます。どうやら多くの人々は「奈良」と聞くと鹿しか居ない山奥の僻地を想像されるようで、学生時代から大阪に出ていた私は奈良という県の地方性を否応無しに感じながら生きてきました。

私の住む奈良市は生駒山を越えてすぐなので実際は大阪と親和性が高く、住民のほとんどが県外労働者と言える土地柄です。にも関わらず大阪において奈良県が非常に田舎扱いなのは納得がいきません。元は「都」なんだけど、と息巻いたところで所詮はせんとう君。奈良県民が見ても決して可愛いと思えないマスコットを前にうなだれるばかりです。

そこで奈良はこんなにも良いところなんだけど、と意地でも見つけてやろうと考えたのですがこれがまた簡単には見つかりません。

「奈良に美味しいもの無し」と言いますし、道路交通行政は全国でも最下位レベル。観光客は奈良を通過して京都・神戸へ宿泊し、宿泊施設は観光地として異例の少なさです。以前ひとりフラリと立ち寄った居酒屋でも、隣に

居た見知らぬおじさんに奈良の行政について語られ「だから奈良はダメなんだ！」とクダを巻かれる始末。そうなる唯一自慢できるのは「大阪より空気が美味しい」ことぐらいですか。ああ、悲しくなってきた。

ちなみに奈良盆地の端っこに位置する私の住まいは非常にアップダウンが激しく、自転車がありません。多くの人は車や単車などの移動手段を複数所有しています。その割に車で大阪に出ると警戒されるのが奈良ナンバーの特徴でもあります。悠久の大和の歴史に育まれた優雅な気質の奈良県民には、大阪人のいらちな動きにはついていけないでしょう。私も大阪に出ると借りてきた鹿の如く大人しい運転になってしまいます。

そんな私の経験した奈良県民への扱いに対し、いくつかの異議とお願いがあります。

- ①吉野山奥の土砂崩れのニュースを見て私の生死を心配されるのは有り難くも残念です。
- ②奈良のどこにでも鹿がいる訳ではありません。鹿を飼っているご家庭もありません。
- ③奈良漬の作り方を聞かれても奈良県民の全てが答えられるわけではありません。
- ④大阪に比べ気温がそこまで低い訳ではありません。決して奈良は雪国でもありません。
- ⑤奈良と聞いて「あー大仏ね」とひとり納得しないで下さい。そんな総括は不要です。

今回は敢えて趣味の車の話を避け、私が愛してやまない奈良について述べてみました。今年いっぱい平城遷都千三百年祭も行われていますし、これを機会に奈良の素晴らしさに目覚めてみては如何でしょうか？

～大鋌協中央支部～ マカオ2泊3日の旅に参加して

(株)ゴトウ

石 江 多加子

今回のマカオ旅行を大変楽しみにしていた父が体調を崩したため、急遽娘の私が参加させて頂きました。

当初、参加者で女性は私一人と聞き少し考

えました。でも日頃海外旅行の機会も少ないです。マカオにはカジノもある！という事で、大変興味を持ち思い切って参加したのです。

当日、関空より空路香港へ約4時間、香港から高速艇に乗り換え約1時間でマカオに到着しました。

まずはホテルでチェックイン。オリエンタリックなフロントからふかふかの絨毯が敷き詰められた廊下を通り案内してもらったお部屋は、なんと黒とコゲ茶色で統一されたシックな色合い！調度品も重厚感があり、ベッドにはタッセルが付いたサテンの大きなクッションが3つも乗っていてお姫様気分です。これまた重厚感のあるカーテンを開けると素敵な夜景を独り占め気分。何とも素敵なお部屋なのですが、アイロンとアイロン台が完備されているのに少し驚きました。

ホテルで夕食…も早々に、お楽しみのカジノへ！天井が高く、そして広い！とても明るく金色にライトアップされた会場には螺旋状のエスカレーターがあつたり、会場の2階にはゴンドラが浮かぶ水辺があつたり、と非日常の空間。テレビや映画で見るラスベガスのドレスアップしてギャンブルを優雅に楽しむ人々を想像していたのですが、実際はかなりカジュアルな印象の地元の人でいっぱいでした。

とは言えモノは試し。ちょっとルーレットをやってみて、…ちょっと負けて退散しちゃいました。



セントポール寺院



町並み

翌日、セントポール寺院や市内を観光し、お買い物を楽しみました。マカオは元ポルトガル領です。建物や街路には古い欧州の風情がそこかしこに残り、不思議な感じです。まるでアジアに居ることを忘れさせてくれるかのようです…が、行き交う人を見ればすぐに『ああ、ここは中国やった』と気付けます。

食事はポルトガル料理です。大阪で生活している私たちにとってこれも希少な体験でした。

楽しい時間はあっという間に過ぎていきます。気が付けば帰りの飛行機の中。今回の旅行は女性向けのスケジュールでは無かった為か、お買い物時間が少なかったのが少し心残りです。次回も参加させていただきます。

ご尽力いただいた関係者の皆様、一緒に遊んでくださった参加者の方々、本当にありがとうございました。

中国茶と日本の茶道

(有久保製作所

郭 小 琴

中国は茶の故郷であり、「茶文化」の発祥地と言われている。中国茶は、最初は薬として用いられたが、唐時代以後飲料として一般化になった。唐時代には「茶堅」と呼ばれている陸羽という人物の名著「茶経」によって茶は学問として確立されていく、宋代にはさらに発展されて、人々の日常生活の中に入るようになった。今でも生活必需品中の欠かせない飲み物になり、重要な位置を占めている。

茶の木は温暖で湿気多い環境に生育するが、多くの銘茶は恵まれた環境で栽培されるため茶の葉に含まれる物質が増え、栄養や味、色、香りのバランスも揃い、体に良い茶になると言われている。茶はさまざまな効用があるが体温を降下させ、体内の毒素を取り除き、ダイエットにも効果がある。

広大の中国では茶の種類も豊富ですが、緑茶、紅茶、黄茶、黒茶、白茶、青茶など、大別して六つに分類することができる。昔から

長江以北の人々は紅茶を、長江以南の人々は緑茶が好まれていたが、1990年代後半から青茶（別称：ウーロン茶）も人気になった。

今、日本でもポピュラーなウーロン茶はその幅が広い、また、ウーロン茶の産地は四つに分けることができる。①福建省北部武夷山が産地であるミン北ウーロン茶：味に優れていると言われ、最も有名なのは「大紅袍」。②福建省南部のミン南ウーロン茶：香りに優れ、最も有名なのは「鉄観音」。③広東ウーロン茶：若い女性に人気である蘭、蜜、桃の香りなどいろんな種類がある。④台湾ウーロン茶：茶の種類も豊富で、凍頂ウーロン茶が有名である。

中国茶が初めて日本に持ち込まれたのは、平安時代、805年に当時の中国に遣唐使として渡った日本人僧が中国大陸に渡り翌年帰国とともに茶を持ち帰ったのが始まりだとか、次は僧の「栄西」が中国宋に2度わたり1191年帰国後九州各地を回る。また、彼は「喫茶養生記」をあらわし喫茶の風習を日本に広めた。そして800年もの時を越え現在の本格的な中国茶ブームの到来である。

中国茶は日本に伝わった後、日本の伝統文化と結びつけて、発展しており、今は芸術、哲学、宗教を含み総合的な文化体系になった茶道、今すでに、日本独自の一種の文化形式になった。さらに、世界的に有名になった。

現在、経済が急速に発展する社会の中で、人々は茶道を通じて、激しい競争と仕事の緊張による溜まったストレスを解消することができ、現実的な社会で抑えられた雰囲気をもくげだすことができると思う。茶道が日本社会で普及するにしたがって、人々はますます茶道文化を重視するようになった。

日本茶道は「和、静、敬、寂」が基本精神であるのに対し、中国茶道では「和、静、怡、真」と「廉、美、和、敬」二つがあると言われるが、皆さん茶道に対してどんな観念を持っているでしょうか。



組合ウェブサイト、リニューアル！

HPプロジェクト 大喜多 正 己

前年度より、広報委員会での議論、そしてHPプロジェクトチームでの作業を経て、今年度の総会で大鉄協の新しいウェブサイト（www.daibyokyo.com）を披露することができました。

今回のリニューアルは、ただ単に見た目をキレイにする、というものではなく、私たちの組合のウェブサイトの果たすべき役割から改めて考え、再構築することを目的としました。サイトの詳細は実際にサイトをご覧いただければおわかり頂けると思いますが、ここではサイトのコンセプトや運営などのポイントについてご説明申し上げます。

A. コンセプト

サイトの想定する閲覧者は、1. 組合企業経営者 2. 組合企業従業員 3. 組合外企業 の三つに大きく分けることができます。もちろん、どれか一つに特化して他は無視する、というわけにはいきません。しかし、一からリスタートするにあたり、対象をある程度絞って明確化し、それに沿ったサイト作りをすることは必要と考え、まずは「組合企業経営者の皆さんに対する情報提供」を意識したものを目指しました。

自分自身を振り返っても、組合が提供している各種のサービスや行事など、よく知らないことがたくさんありました。まずは経営者自身が「組合を知る」、このことが組合の活性化、ひいては各企業の利益に繋がればと思います。

B. 運営

これまでは、「善意のボランティアによる手作りサイト」であったため、タイムリーな更新なども思うに任せず、ある種「放置」されがちな状態に陥っていました。今回、構築を外部の業者に任せ、月々一定額を支払う形にすることで、大規模な改造でなければいつでもタイムリーに更新することができるようになりました。

また、事務局からの各種お知らせや報告などは、業者の手を煩わせることなく、事務局自身の手で掲載できる仕組みを取り入れています。これにより、より新鮮な情報を、サイトを通じてお届けできるようになりました。

百聞は一見に如かず。まずは、ちょくちょくサイトを覗きに來てください。そして、ご不満やご希望などを、ぜひ事務局の方にお寄せ下さい。



リニューアルされた組合HP(トップページ)

21社から40名が受講

労務委員会 第23回 F E セミナー

労務委員会（高橋秀二委員長）主催による第23回 F E セミナーが、3月12～13日の2日間、兵庫県芦屋市の大阪ガス奥池ロッジで開催され、21社から40名の社員が受講しました。

F E（ファスナー・エンジニア）セミナーは、19年前から同組合傘下の主として中堅実務社員の資質向上と、業務に役立つ実践的教育をねらいに実施されており、講師は平成19年から工学博士でねじの表面処理分野にも造

詣の深い北井敬人氏（ケーエム精工(株)社長）が務めています。

初日の開講式は武田等労務副委員長の司会で進められ、高橋委員長による開講挨拶に続き、大西進副理事長が講師ならびに関係者への御礼とともに「景況は昨年後半からやや明るさを取り戻しつつあるが、まだ我々の業界を取り巻く環境は厳しい。皆さんは各社の期待を背負って本セミナーに参加されているのだから、今日と明日を有意義に過ごし、少しでも企業や業界に貢献できる人材となれるよう努力していただきたい」と励ましの言葉を述べました。

この後、司会より講師や委員の紹介、資料確認、講義予定、施設利用上の注意事項の説明などがあり、出席者全員による記念撮影を挟み、研修に入りました。

講義内容

～第1日目～

▽はじめに＝ねじの歴史と常識、平成19年度ねじ製造業者&流通業者の実態、ねじ輸入・輸出実績推移、ねじが関係した最近の社会問題、ねじ業界で働く者として▽ねじ入門講習（ねじとは、その種類、規格、JIS六角ボルトナット規格改正）

▽ねじの基礎講習＝ねじ山の名称、形式、ねじの呼び、呼び径、単位換算、ねじの等級、ねじ検査

▽ねじ材料講習＝線材製造工程、鋼種、炭素鋼の種類、ねじの強度区分、合金鋼の種類、

ステンレス鋼、線材の種類、材料強度、非鉄金属、目付と材料値上げの計算

～第2日目～

▽熱処理講習＝なぜ熱処理するの？、焼入れと焼戻し（調質）、Fe-C状態図、C含有量と組織変化、熱処理（焼きならし、焼きなまし）の種類と冷却方法、表面処理の種類と実施例、熱処理方法、熱処理硬度

▽めっき講習＝なぜ表面処理するの？、めっきの種類、電気亜鉛めっき方法、めっき厚（2、5、8、12、20 μ m、渦電流式、蛍光X線式）、遅れ破壊／ベーキング、表面処理評価方法（塩水噴霧、湿潤繰返し、屋外曝露試験）、ステンレスの表面処理（パシベート、焼き付き防止）、ねじ締付けトルク／トルク係数K、締付けトルク計算

▽ねじ製造講習＝製造工程、ボルト〈圧造〉圧造機械、ボルト〈ねじ転造〉転造機械、ナット〈圧造〉、ナット〈ねじ切削〉、熱処理、表面処理、検査・試験方法

▽品質管理講習＝統計的手法（QC7つ道具）、平均値とばらつき、工程能力指数C_p、ねじ締結体のトラブル、ISO9001、ISO14001、環境負荷物質規制

▽修了試験。



FEセミナー参加者

小川レール商会在初優勝

福利厚生委員会 第36回ボウリング大会

恒例の第36回ファミリーボウリング大会が2月28日午前10時から大阪市港区の“ボウリングス”にて開催され、小川レール商会チームが1552点の好成績で初優勝しました。

同大会は福利厚生委員会（鈴木啓次委員長）の企画・運営により、毎年多数の組合員及びその家族がボウリングに興じてきました。

当日は31チーム・93名が参加、鈴木委員長による開会挨拶や細山田秀明・前理事長による始球式のあと競技がスタート。

1チーム3名編成で3ゲームによる計9ゲームトータルの競技終了後、表彰式がおこなわれ、優勝した小川レール商会チーム（高岡繁、増田力、山岡信也の各氏）をはじめ、

優秀な成績を残したチームや個人に各々トロフィーや記念品が手渡されました。

主な結果は次の通り（敬称略）。

▽団体（得点は9 Gトータル、ハンデを含む）優勝＝小川レール商会1552点、準優勝＝丸エム製作所 B 1517点、③鈴木製作所 B 1498点。

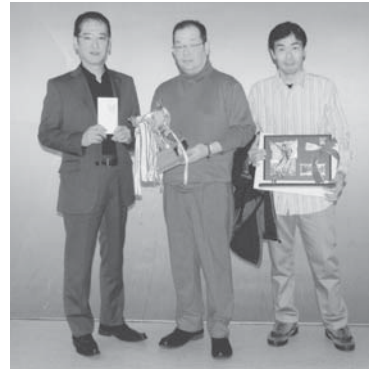
▽個人（3 Gトータル、同・男子）優勝＝増田力（小川レール商会）619点、準優勝＝佐野彰一（丸エム製作所）546点、③佐原一行（コノエ）533点。

同ハイゲーム 増田力（小川レール商会）233点。

▽個人（同・女子）優勝＝岡田恵美子（コ

ノエ）561点、準優勝＝南島笑子（岡總）477点、③楠元涼子（太陽ファスナー）464点。

同ハイゲーム 岡田恵美子（コノエ）190点。



優勝した
小川レール商会チーム

社長塾に参加して

(株)大喜多

大喜多 正 己

経営委員会が運営されている「社長塾」も先日、第3期が終了しました。不肖の塾生で恐縮ですが、何か書けとのお達しですので、少し振り返ってみようかと思えます。

私は第1期社長塾には参加していませんでした。正直、ある種の研修にありがちなストレスを想像し、気が進まなかったのが主な理由だったように思います。さらに、ただ単純に「面倒くさい」という気持ちもあったはずですし、その裏には気の緩みや慢心もあったに違いありません（あやふやな書き方ですが、その時はそこまで深く考えず、「何となく気が進まない」で済ませていたので）。

第2期が始まる際に改めてお誘いを頂き、「せっかくお声を掛けて頂いたのだから」という気持ち半分、「今回は講演会ばかりだし」という気楽さ半分で、参加することにしました。

タイミングが良かったと言うにはあまりに悲しいですが、リーマンショックで業績は急降下中。こちらもしっかり謙虚な気持ちになっていたのでしょう、講師の皆さんの話は身

に染みしました。そうして、第3期のご案内を頂いた時には、こんどは自分から申し込んでいたような次第です。

講師の皆さんはどなたも、経営者として奮闘されてきた方です。それにしてもまあ、どなたも個性的なこと。正直「えっ」ということも、たまにはありました。しかし、小さな教室の中、本当に近い距離で、本音をざっくばらんに語って頂けること自体、貴重な機会だと思います。

さて、実は私自身にとっては、この社長塾の最大の特徴は、講演が終わった後に場所を移して行われる「意見交換会」でした。講師さんに参加して頂けることも多く、教室では聴けなかった話も聴けます。まあ私などは、ただ単純に、飲み食いを楽しんでいるだけではありますが、教室での濃～い話に集中した後のビール、最高ですね。

最後になりましたが、毎回の企画・運営にご尽力下さっている経営委員会の皆様、ありがとうございました。

シリーズ 私の宝物

上方落語と私

(株)前野商会

前野 幸 司

何故か、今、落語ブームである。其の理由は色々と考えられるが、其の一つにドラマ「タイガー&ドラゴン」のヒット。そしてNHKの朝ドラ「ちりとてちん」のヒット。それから、桂米団治、桂春蝶、桂文我、桂塩鯛、林家正蔵、林家三平等の襲名ブーム。この襲名はこれからもまだまだあると聞いている。そして4年前に出来た天満天神繁昌亭の誕生。今まで大阪には落語の定席が無かったのでこれも大きな理由の一つである。その結果、今までのファンとは違う若い人、それも女性のファンが増えてきたそうである。



そもそも、上方落語とは江戸時代中期に、京都の初代露の五郎衛や大阪の初代米沢彦八が道端に舞台を設け、自作の噺を披露して銭を稼いだ「辻咄」（つじばなし）や「軽口」（かるくち）が落語の起源といわれている。戦後の一時期、上方の噺家の人数が20人を切るといいう危機に見舞われたが、所謂、上方四天王（3代目桂米朝・5代目桂文枝・6代目笑福亭松鶴・3代目桂春団治）の奮闘によりその灯を守ったと言われている。中でも人間国宝、桂米朝の働きによるところが大きい。今では上方落語協会には約240人も噺家がいるそうである。

落語とはそもそも、一人芝居、会話劇の芸である。観客がその噺を聞いてイメージをどれだけ膨らませることができるか、それによって面白さが全然違うものである。いわば、観る側の責任が大いにある芸である。例えば100人の観客がいるとすれば、観客の頭の中に100のスクリーンがあり、それぞれが違うスクリーンを観て楽しむ訳で、その観客の想像力、知性、人生経験、考え方、性格等の、違いで面白さが各々違うわけである。故に幼い子供には理解し難い芸でもある。

それから、高座では着物、これは今では珍

しいことであるが、一昔前なら誰もが着物を着ていたわけで、正に普通で、何も特別なことは無い。そして高座には大道具は無く、あるものは座布団一枚だけ。時には上方落語独特の見台と膝隠し（東京では使用しない）を使うがあとは小道具として使う、手ぬぐいと扇子だけである（上方落語では時に小拍子やはり扇を使う場合もある）。

その手ぬぐいがある時は手紙になったり、煙草入れになったり、財布になったりする。又、扇子は筆、煙管、箸、刀、とっくり、算盤等となり、そこに存在しないものがあたたかも、あるように見える不思議な芸である。そこが正に落語の醍醐味で、高座の上には何も無いから、何でも出来る。何かがあれば、それに左右され、影響を受けるが、何も無いから、何でもイメージ出来るし、何でも表現出来る、まさに無限の芸である。そこにあるのは観客のイマジネーションだけで、語り手はそれを少し助けるだけである。この上方落語は300年続いている古典芸能で、そこには現代にも通じる笑いの要素の全てが詰まっているとされている。

この「無」から「有」を生む芸能は世界にも例を見ない日本独自のもので、それを継承して守っているのは、徒弟制度、弟子制度である。誰でも、プロの噺家になるにはまず、誰か師匠を見つけて、内弟子に入り、3年間は無休、無給で師匠の世話をして、落語と人生と色んなしきたりを教わる。その苦勞をしないと誰もプロにはなれない。東京には「前座」「二つ目」「真打」というはっきりした身分制度があるが上方にはそれが無い。その各々の一門の結束は非常に強いものがあり、師匠は一生、師匠であり続け、その弟子の面倒を見続けなければならぬ。相撲の世界では相撲協会から、一人の弟子について幾らかのお金が支給されるらしいが、落語の世界は全て師匠持ち



で、無報酬で弟子の面倒をみるのが普通である。又、面白いことに、落語には著作権という概念が無く、誰がどのネタをやるのが自由で、一門の師匠以外でも噺を教わることが出来る。だから300年も続いたのかもしれない。上方の古典落語のネタは約200とも300とも有ると言われているが、良く出来た噺しか、残っていない。そして古典落語の凄いところは、同じネタを聞いて、何時も同じ処で笑ってしまうこと、ネタは何度も聞いて知っているのにやはり同じ処で笑ってしまう。ほんとに不思議な芸である。

又、新作落語や創作落語というのも沢山ある。現上方落語協会の会長、桂三枝は新作落語しか演じない（其の数は130を越えている）。そしてその幾つかのネタがいつか、古典落語となっていくかもしれない。尤も、今ある古典落語は元来、昔に誰かが創った新作落語であったはずである。

そんな落語にある時、すっかりはまってしまい、今では天満天神繁昌亭の昼席をネット（ライブ繁昌亭）で、毎日観て楽しんでいる。これはお勧めで、月1000円で見放題、一週間交代で大体毎日5席から9席やっている。でも、寄席の決まりで一人の持ち時間が15分位しかないので、じっくり噺を聞くと言うわけにはいかない。もしどうしても聞きたかったらホール落語（独演会など）へ行くしかない。

そして、遂に、何と、その落語を自分でも始めてしまった。2年前の或る日、三女が僕に無断でNHKのカルチャースクール「桂文華のおもしろ落語塾」へ申し込んで、実際に落語を教わる羽目になってしまった。後から聞いた話によると、最近、父親の物忘れがひどいからその対策に行かされたらしいが、正に其の通りである。

教室の先生は桂文華というプロの噺家である。現在46歳、桂文枝一門の12番目の弟子、関学落研のOBで入門22年目の中堅である。まだまだ無名の噺家であるが、その落語に対する姿勢は誠に真摯である。何時も頭の下る思いをする。平成20年には文化庁芸術祭賞・



大衆芸能部門優秀賞を受賞。又、昨年は繁昌亭大賞・奨励賞を受賞している。最近、その師匠に弟子（桂華紋）が一人入門してきた。こうして、伝統芸能を守っていくのであろう。

そのカルチャースクールというのは定員が20名。1クールが12回の授業で、最後の12回目が発表会になっている。高座名「ねじねじ亭ネット」として、今までに3回の発表会に出たが、満足のいく高座は未だに無い（尤も、素人芸故に当然であるが）。過去にやったネタは初回が「手水回し」次が「大安売り」そして「死ぬなら今」。そして今度の9月の発表会は「転宅」の予定である。

実際にやってみると、聞くと演る（やる）とは大違いでこれがなかなか難しい。まず、始めの関門は10分以上の正座、次にネタの暗記、そして話の所作、それから一番難しいのが登場人物になっての台詞まわし、やはり気持ちを入れてしゃべらないと、伝わらない。登場人物が増えてくるとその演じわけが更に難しい。単にネタの丸暗記ではダメで、教室ではいつも、皆が師匠に注意される点である。

最近をよく実際に落語会を見に行くが、流石、プロの芸は凄いと感心させられることがよくある。実際、プロが本気でやった時の迫力はほんまに凄いいし、これが又面白い。

次に最近の僕のお勧めの噺家は、大御所を除いて上方では勿論、桂文華師。そして笑福亭松喬・桂雀三郎・桂楽珍・笑福亭三喬。東京では柳家喬太郎・立川談笑・立川談春が面白い。

そして、趣味で集めた音源は遂に2500席（主にインターネットで）を超えた。そんな落語を人生の趣味の一つとして、これからも楽しんで生きたいと思う、今日、この頃である。



村井耕太郎氏（村井製作所）が優勝

第 6 回大鉄協親睦ゴルフコンペ

第 6 回親睦ゴルフコンペがさる 3 月 27 日、兵庫県川西市の鳴尾ゴルフクラブでおこなわれ、村井耕太郎氏（株村井製作所専務）が NET 68.8 の好成績で優勝しました。

当日は 6 組 22 名がエントリーし、午前 8 時 45 分、アウト・インに分かれてスタート、ダブルペリア方式で腕を競いました。

上位の主な成績は次の通り（敬称略、数字はアウト・イン・グロス・ハンディキャップ・NET の順）。

優 勝 村井耕太郎（株村井製作所）
50、48、98、29.2、68.8

準優勝 山里誠志郎（阪神ネジ株）
44、38、82、12.4、69.6

3 位 田原照始朗（田原株）
46、52、98、26.8、71.2

次回第 7 回親睦ゴルフコンペは、きたる 10 月 9 日（土）、奈良県天理市の春日台カントリークラブにておこないます。

集合時間は午前 7 時 15 分、東コースでスタート午前 7 時 38 分です。6 組のエントリーを予定しており、定員になり次第締め切り。競技はダブルペリアルール。

問い合わせはニットー金属工業株（TEL 06-6761-7351）まで。

表紙のことば

うーん ○ンダム

三喜鉄螺株 勝亦良彰

1995年の夏、友人から「今度、アメリカ50州を周りたいたいんだけど、第1回目は、君の好きな処に行くから一緒に行かないか」と誘われ、ふと承諾した。これが彼と15年に亘るアメリカ50州制覇の旅の始まりでした。

アメリカと言っても、東部・西部・北部・南部・中部と全く違う景色や文化があり、例えばノースダコダ州などは、日本のガイドブックに詳しくは載ってなく、ましてやフライトとホテルの予約だけで出かける旅では、手探りとサプライズの連続でした。

今回の写真は、チャールズ・ブロンソンの

TVコマーシャルで有名な「モニュメント・ヴァレイ」です。2005年の第10回目の旅で、ネバダ（ラスベガス）・アリゾナ（グランドキャニオン）とともに訪問したユタ州では、ザイオン国立公園・ブライスキャニオンとモニュメントヴァレイという国立公園めぐりをしました。

ここでの圧巻は、山々を背景にした日の出で、これを見るには公園内のロッジに宿泊しなければなりません。あとはRV車を馬車に見立てて公園内を走ることで、ネイティブ・アメリカンから買ったターコイヤスのカフスが、思い出と共に今も手元にあります。

編集後記

この夏、いや9月に入ってから、もうイヤになるほど聞いた言葉。でもやっぱり、ついつい口にしてしまう言葉。みんな飽き飽きしているだろうから、ここには書かないでおこうと思う言葉。

と、ここまで書いて思ったこと。もし何年か後にこの編集後記を読み返したとして、その言葉が何だったのか思い出せるだろうか。最近、記憶力がますます.....。

やっぱり書いてしまおう。「暑いつ！」

(大喜多 正己)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

大阪鉄螺卸商協同組合
電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒540-0025 大阪市中央区徳井町1-3-14
ナンデ印刷株式会社
電話 (06) 6944-9244

今後の大鉄協の主な年間スケジュール

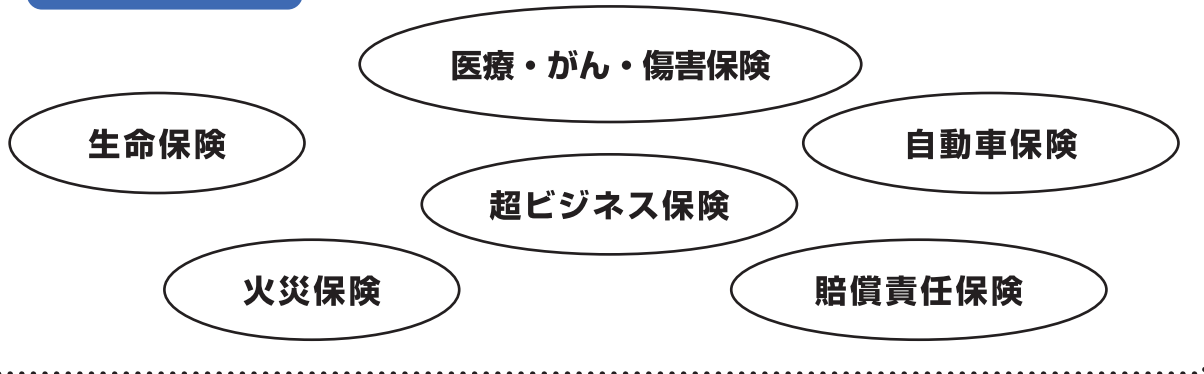
日 時			行 事 (予 定)	場 所	
9	8	水	13:30	三役会	事務局
	8	水	15:00	理事会	健保会館
	21	月		広報誌（79号）発行	
10	19	火	9:30	ねじ工場見学と研修会	金剛鉄螺・府立図書館大会議室
	31	日		第3回テニス大会	シーサイドテニスガーデン舞洲
11	5~6			第17回FEセミナー（図面の見方・描き方）	テクノセンター東大阪
	10	水	13:30	三役会	事務局
	10	水	15:00	理事会	健保会館
12	3	金	16:30	記念講演会	ヴィアーレ大阪
	3	金	18:30	忘年会(大鉄協 創立60周年記念)	ヴィアーレ大阪
2011 1	12	水	10:00	新年互礼会	ヴィアーレ大阪
2	18	金	14:30	三役会	ヴィアーレ大阪
	18	金	16:00	理事会/役員懇親会	ヴィアーレ大阪
	21	月		広報誌（80号）発行	
	下旬 (又は3月上旬)			第37回ボウリング大会	
3	9	水	13:30	三役会	事務局
	9	水	15:00	理事会	健保会館
	11~12			第24回FEセミナー（ジュニアコース）	大阪ガス奥池ロッジ
4	20	水	11:30	三役会	事務局
	20	水	14:00	理事会	健保会館
5	20	金	14:00	通常総会	ヴィアーレ大阪
6	8	水	13:30	三役会	事務局
	8	水	15:00	理事会	健保会館
7	24	日		第63回野球大会①	村田機械（神足球场）
	31	日		第63回野球大会② ねじ流通商社経営実態調査	村田機械（神足球场） （8月回収）
8	21	日		第63回野球大会③（決勝戦他）	日本精線（枚方球場）

* 6月以降は予定です。

大阪鋌螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鋌螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご利用ください。

取扱商品



*生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で(株)東海日動パートナーズ関西にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先

大阪鋌螺卸商協同組合	〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10 ツチノビル
担当:中西・小林	TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514
提携代理店	株式会社東海日動パートナーズ関西 TEL 06-6649-6727 担当:三宅
引受保険会社	東京海上日動火災保険株式会社 TEL 06-6910-5033 大阪公務課